

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【公表番号】特表2004-508159(P2004-508159A)

【公表日】平成16年3月18日(2004.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2004-011

【出願番号】特願2001-585897(P2001-585897)

【国際特許分類】

B 0 1 D 46/00 (2006.01)

H 0 5 K 5/02 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 46/00 C

H 0 5 K 5/02 L

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月25日(2007.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 機器エンクロージャとともに使用される拡散チャネルアセンブリであって、少なくとも1つの拡散チャネルを形成する少なくとも最外カップおよび最内カップの2つ以上の入れ子式カップを具備し、該入れ子式カップがフィルム材料から形成され、該カップの各々が、実質的に該カップの外縁全体の周りに周辺シール部を有し、該周辺シール部が、カップ部を包囲しかつシール面を形成し、隣接するカップの周辺シール部がシールされることによって該カップ部の周りに連続的なシールを形成し、該カップ部が、通気孔と、隣接するカップ部間に少なくとも1つの間隙とを有し、該間隙が、隣接するカップ部の通気孔に連結されて少なくとも1つの拡散チャネルを形成する、アセンブリ。

【請求項2】 前記周辺シール部がリップ部であり、該リップ部が1つの平面内に延在し、前記カップ部が該平面の外へと延在し、フィルタ材料が少なくとも1つのカップ部内にある、請求項1記載の拡散チャネルアセンブリ。

【請求項3】 前記カップ部とリップ部とが一体的であり、前記入れ子式カップのそれぞれが外面および内面を有し、外側カップが、当該拡散チャネルアセンブリの外部環境と連通する外部通気孔を有し、該外側カップが一体リップを有し、該一体リップの内面が隣接する入れ子式カップのリップ部にシールされ、また内部通気孔を有する内側カップも提供され、該内側カップのリップ部の外面が隣接する入れ子式カップのリップ部にシールされる、請求項1記載の拡散チャネルアセンブリ。

【請求項4】 電子エンクロージャにおいて使用される拡散チャネルアセンブリを形成する方法であって、各々の長さに沿って等しく間隔が空けられた複数のカップ部と該カップ部間のランド領域とを有する2つ以上のフィルムを提供することと、該カップ部に通気孔を提供することと、隣接するフィルムのカップ部を連続的に入れ子にして隣接するカップ部間に間隙を形成することと、該カップ部間のランド領域を連続的に接着することと、個々の入れ子式カップ部を分離することにより離散的な拡散チャネルアセンブリを形成することと、を含む方法。